



クラブ訪問 186

合言葉は「ミッキーの声で歌おう」

桜田小学校合唱部

私たち桜田小学校合唱部は、4、5、6年生の男女50人で、朝と放課後に音楽室で活動しています。桜田小の先生方と、特別非常勤講師の安増寛美先生やすぞみの指導の下、ソプラノ・メゾソプラノ・アルトの三部合唱に取り組んでいます。

新しい歌を練習するときは、まず、パートごとに安増先生が出す声をまねて、声の出し方を覚えさせます。先生からは、地声で歌うのではなく、頭に響かせるような声で歌うように指導されています。私たちは頭に響かせるような声を「ミッキーマウスの声」に例えました。

歌うときは、部員全員が自然と笑顔に。桜田小の児童は卒業式などの学校行事で、パートに分かれて歌う本格的な合唱に、低学年の頃から親しんでいます。このため、全部員が歌うことを心から楽しんでいるのだと思います。

現在取り組んでいるのは、二部会音楽発表会で披露する「蝶が海峡を渡る」という歌です。後半、3つの声が合わさり盛り上がっていくところが一番の聴かせどころ。同時に、一番難しい部分でもあるので、重点的に練習しています。

また、これからは卒業式の全校合唱の練習も始まります。6年生と歌う最後の舞台。歌声で、聴



野原 真妃 部長 (6年生)

合唱の、3種類の声がついて重なって盛り上がるのが好きです。



頬を上げることを意識して



声高らかに歌い上げる

いている人を感動させられるように、これからも練習に打ち込みます。

竹を美しい作品に

浮書絵彫の会

私たち「浮書絵彫の会」は、毎月第2火曜日と第4水曜日に久住公民館で浮書絵彫を楽しんでいるサークルです。浮書絵彫とは、孟宗竹に書や浮世絵などを彫刻するもので、50年程前に南房総で生まれました。

作品の制作は、5カ月程度かかります。まずは、竹の伐採から。切った竹をドラム缶に入れて一晩煮て、その後3カ月間乾燥させます。こうすることで竹に含まれる油分が取り除かれ、



集中が必要な彫り作業



コイや美人画などを題材に

雅びな作品を手に



持ちが良くなります。そして表面の皮をむき、紙やすりで磨くと、ようやく下準備が整います。次に行うのは作品の印象を決める色付け。墨や茶粉と呼ばれる粉を湯で溶いた液を、布で竹に塗っていきます。文字通り、茶色が基本の色ですが、茶粉の量の加減で赤や黒にもなります。自分の思うような濃淡を出すのは難しい反面、面白いところでもあります。

その後、カーボン紙を竹に当てて下絵を写し、彫刻刀で彫り上げていきます。彫りで難しいのは、毛髪や鳥の羽根など繊細な箇所です。刃が深く入りすぎないよう、慎重に進めますが、うまくいかないことも。そんなときは先生のアドバイスで一手間加えると、見違えるように出来栄が良くなります。私たちもその感覚を早く身に付けたいです。

これだけの段階を重ねて作り上げるので、作品一つ一つに愛着が湧きます。色味は少ないながらも、そこにこそ、飽きの来ない深みがあると思います。

11月6日(日)〜26日(土)には、中央公民館の展示ケースに作品が陳列されます。私たちにとっては初めての一般披露。ぜひ多くの人に見てもらい、浮書絵彫のことを知ってもらいたいです。

スクスクのびのび



阿部 こころちゃん(2歳)久住中央

たくさんお話ができるようになってきて、毎日楽しませてくれます。これからもすくすく育ってね。

はるあ 星 遥亜ちゃん(1歳)南平台

よく食べ、よく遊び、毎日元気100倍です!



やまと 新井 大翔くん(7カ月)土屋

来年の祇園祭でパパが若者頭になるので、日々お祭りの英才教育を受けています!

このコーナーには市内在住で満5歳までのお子さんの写真を掲載しています。お気に入りの1枚が撮れましたら、ぜひお寄せください。

○応募方法 お子さんの写真に住所・氏名(ふりがな)・生年月日・親の名前・電話番号・30字程度のコメントを添えて広報課へ
○応募先 〒286-8585 花崎町760 成田市役所広報課
○問い合わせ 広報課 ☎20-1503